

2025年11月8日
班番号 1
進行役
書記係
発表者

タイトル
[みんなで つくる Green good Park !!]

ヒートアイランド

- ・駐車場の緑化
- ・既存樹の保存
- ・緑のカーテンづくり
- ・緑陰樹の植樹

みんなで作る
緑のこうえん

脱炭素・資源循環

- ・剪定くずの堆肥化
クラフト利用
- ・雨水の再利用

生物多様性

- ・ビオトープ作り
- ・自由研究の場
- ・環境学習
- ・草刈りの工夫
(昆虫・野草の生育場)
- ・在来種のイサ全

植栽管理の効率化

- ・ボウシナイフ、高令者の活用
- ・草刈りロボ
- ・ゾーニング管理
- ・宿根草・多年草を植える会

R7 年 11 月 8 日

班番号 2 班

進行役

書記係

発表者

タイトル

[

循環型公園 ジュンパ!!

]

食

農業

体験

再利用

ボランティア

利用者

ビオトープ

eco

堆肥化

木チップ化

ふん尿利用

多年草 時期スレ ヤギ除草

タイトル

[自然の^{とちから}力を利用した植栽管理]

2025 年 11 月 8 日
班番号 3
進行役
書記係
発表者

風 ② 適度に間伐して風通しをよくなる!

木

(11) マルチ・木材にする

再利用, クラフト・チップ材
利用

◎ 視覚的効果 ◎ 効果

・ 風のぼり, 風鈴, 風車の
風車

雨

・ 雨庭を設置しかん水対策とする。

・ 地下水の利用

太陽

カーポート 駐車場設置

農業ハウスの球磨機利用

植栽管理
! 効果的・効果的!
! 節約!
X リット
たてさん!

タイトル

環境に配慮した植栽管理

R7年11月8日

班番号 4班

進行役

書記係

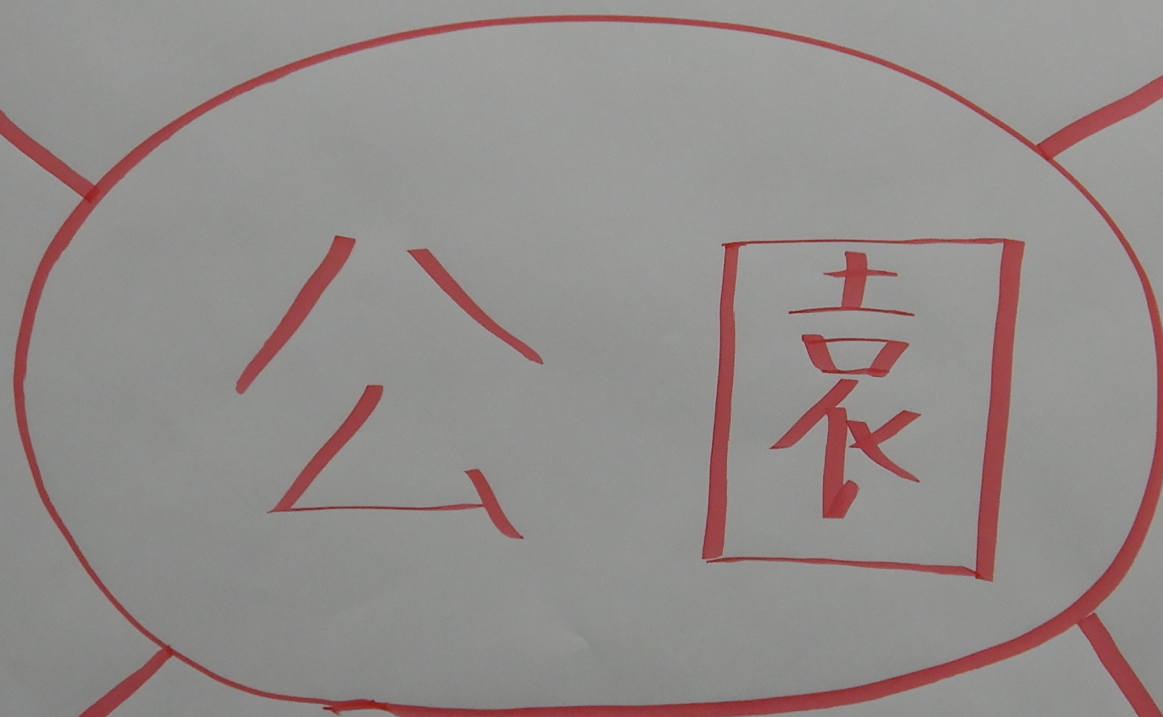
発表者

脱炭素

- ・落葉の堆肥化
- ・剪定枝のチップ化
- ・コンポスト

生物多様性

- ・ビオトープ
- ・在来種の植物



ヒートアイランド

- ・壁面、屋上緑化
(公園内の建物)
- ・緑被率をあげる
(本数よりも太くて大きな木)

グリーンインフラ

- ・レインガーデン

タイトル

[

先人に学ぶグリーンインフラ

⑤ 雨庭に対する植栽の維持管理について...

課題

なぜなんかない?
いじおかない?

対策

じゃあ
... どうするか?



・整備にお金がかかる...

・地味?? ぱさぱさ...

・維持管理に知識がいる

草花、木、生きもの、土の中、こげう...

・費用対効果が感じられない...

・地域住民を巻きこんで
一緒に整備(石みく、花うえ)

・地域住民の中にある詳しい人に
きく。子供、スタッフとともにみんな
学ぶ → 環境教育に!!

・みんなと一緒に整備することで雨庭の内容が
周知できる。

わかりやすい看板の設置とし、学びの場にもできる。

・SNSの活用(進捗状況をお伝え)

一石五鳥

課題 いっぱい

ほかほか 進まないぞ...

タイトル

環境に配慮した植物管理のあり方

日	27	年	11	月	8	日
班番号	6					
進行役						
書記係						
発表者						

植物の 利活用

- 落ち葉や枯れ木
を利用したたき火
イベント

生物多様性

- ビオトープ作成
- 外来種駆除

植物管理 のあり方

循環型社会

- 堆肥化・
チップ化
- 雨水雑排水の
再利用

ヒートアイランド

- 適切な樹木
配置

タイトル

[持続可能な植地管理のあり方]

既存植栽

移植木の活用が不十分

→ 土留化
無料配布
温室ハ燃料の活用

倒木問題

→ 樹木更新計画の策定
(倒木の危険を未然防止)

新たな緑陰創出

駐車場の日影が少ない

→ 高木を植樹し緑陰を創出
→ 庇の設置 + 芳香性植物
→ 緑化ブロックの設置.

生物多様性

生物の居場所が
少ない

→ 其の時. 全てをやらす.

2025 年 11 月 8 日

班番号 7

進行役

書記係

発表者

タイトル

[

里山の原風景を取り戻そう

]

○効率的に管理を行うには...

- ・ボランティアの獲得（地域や自然を愛する団体との協働）
- ・リレーニング（目標植生を意識して管理にメリハリをつける）

○環境に配慮するために...

- ・順応的管理（段階を経て管理手法を構築する）
- ・モニタリング（固有の植物・生物等の有無）

8日

2025年11月8日

班番号

9

進行役

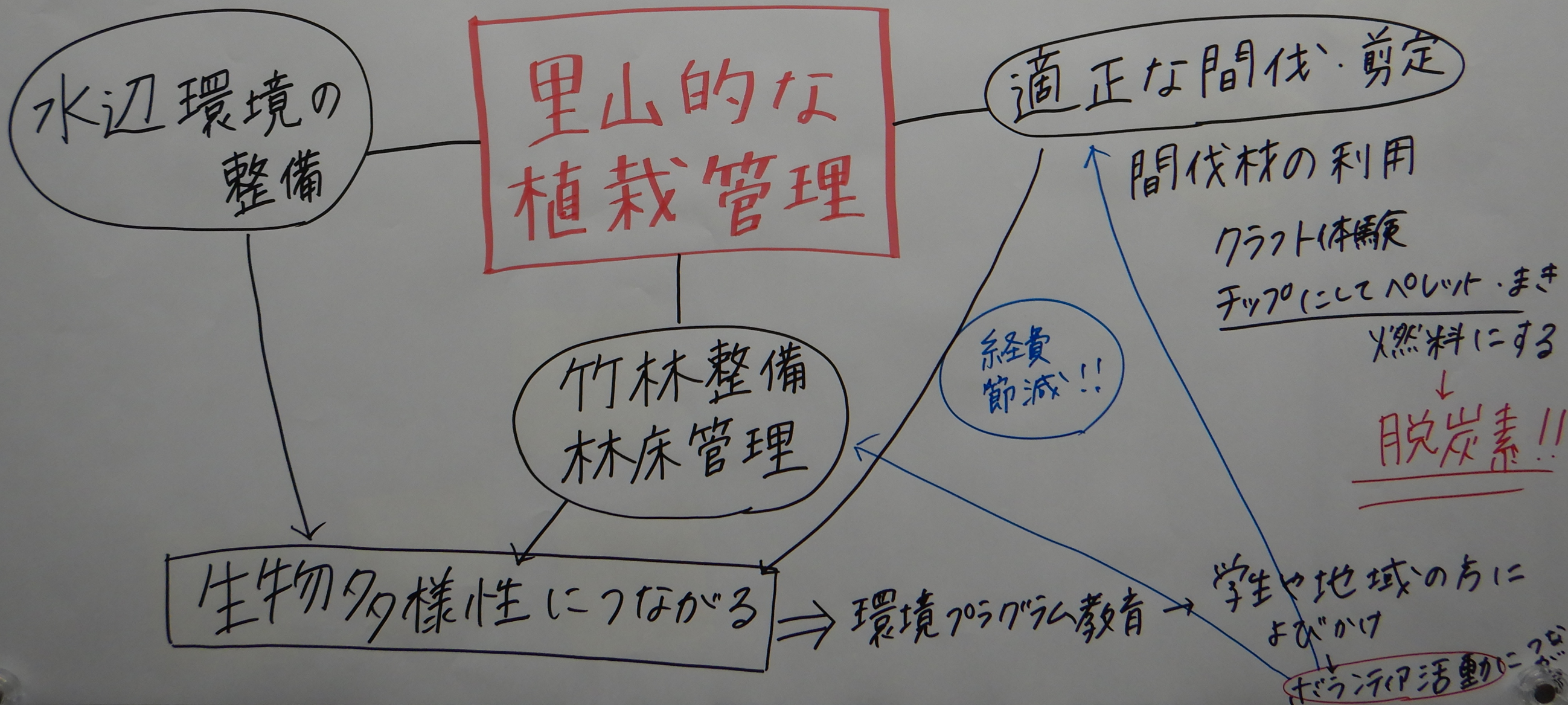
書記係

発表者

タイトル

[~~循環型~~ 循環型★里山的な植栽管理]

昔のくらしの再現



タイトル

[新しい時代の環境と人に優しい植物管理]

2025 年 11 月 8 日

班番号 10 班

進行役

書記係

発表者

現状課題

- 猛暑
- 大雨
- ナラ・松枯れ
- 高齢化
- 人手不足
- 管理コスト増

解決案

ロボット芝刈機

ドローン

新品種の草花

の導入

効果

“環境”の視点

・散水の年間削減

・適切な状態の維持が可能

“人”の視点

・事故リスクの削減

・巡回コスト削減